

市では、事務事業で生じる環境の負荷を低減させ、環境に有益な影響を及ぼす施策事業に取り組むために、平成13年度国際規格ISO14001規格の認証を取得し、継続的な改善に向けた活動を進めています。

このたび市では、同規格に基づいて取り組んだ16年度環境活動結果と17年度環境マネジメントシステムの活動状況などを「環境報告書2005」として取りまとめました。

この報告書は、環境経営の考え方を取り入れた市の環境配慮方針・目的目標・

ISO14001
環境報告書2005
を発行
～市の取組みを紹介～
環境保全課 ISO担当

ISO14001平成16年度の主な目的・目標と実績

環境目的	16年度目標	16年度実績	成果
平成12年度実績を基準に、18年度までにプラスチック製・紙製事務用品の購入総量を6％削減し、購入総量に占めるグリーン購入率を各年度95％以上とする。	購入総量4％削減、グリーン購入率95％	購入総量4.0％削減、グリーン購入率99.6％	○
11年度実績を基準に、15年度以降の事務用紙の購入総量を3％削減し、18年度までに事務用紙のリサイクル率を46％にする。	3％削減、リサイクル率42％	12.1％増加、リサイクル率40.7％	×
20年度までに、公用車の70％を低排出ガス車等の低公害車にする。	更新台数5台（導入率32％）	5台更新	○
市民が排出する一般廃棄物の年間総量を、13年度実績を基準に、23年度までに50％削減する。	可燃ごみ上限排出量23,398 ^ト	可燃ごみ年間排出量22,304.98 ^ト （7.1％減）	○
18年度までに、生ごみ処理機の購入補助基数を3,890基（5年度以降累計）にする。	110基補助	142基補助（累計3,700基）	○
18年度までに集団資源回収による年間資源回収量を600 ^ト にする。	年間資源回収量500 ^ト	年間資源回収量719.1 ^ト	○
18年度までに分別回収による年間資源回収量を13,000 ^ト にする。	年間回収量12,000 ^ト	年間回収量12,736.3 ^ト	○
小中学校の学校給食の牛乳パックを回収、リサイクルする。	リサイクル率100％	リサイクル率100％	○
12年度実績を基準に、市庁舎の年間電力使用量を18年度までに8％削減する。	6％削減	9.0％削減	○
20年度までに、市庁舎から排出される廃棄物の99.5％以上を減量・再利用・再生利用により削減し、「ゼロ・エミッション」を達成・宣言する。	資源化率90％以上	資源化率94.0％	○
17年度までに、自然緑地保存樹木の指定本数を25本（13年度以降累計）以上にする。	新規指定5本	新規指定6本	○
一般家庭防火診断を実施し、市民の生命を守り、火災による環境汚染等を予防する。	年間6,000件実施	年間6,559件実施	○
市立保育園で、地球環境に関する幼児向け啓発活動を実践し、各年度に新規活動を開拓・実行する。	啓発活動実践、新規活動内容の開拓・実行	啓発活動実践、「ISOかるた」完成	○
市内企業に対し、ISO14001規格に関する知識を普及し、認証取得組織の増加を図る。	海老名商工会議所と共催で勉強会を1回以上開催	2回開催（11月・2月）	○
市が実施している環境対策を紹介する環境報告書を作成し、市民等の意識啓発の一助とする。	作成	17年1月「海老名市環境報告書2004」を発行	○

1. 職員数および職員の採用等に関する状況

○部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）

区 分 部 門	職員数		対前年 増減数	主な増減理由
	17年度	16年度		
一般行政部門	議会	7	7	0
	総務	151	156	△5
	税務	46	45	1
	民生	99	99	0
	衛生	88	87	1
	農林水産	12	12	0
	商工	8	9	△1
	土木	102	101	1
	小計	513 (9)	516 (7)	△3 (2)
特別行政部門	教育	131	135	△4
	消防	142	136	6
	小計	273 (4)	271 (4)	2 (0)
公営企業等	下水道	17	18	△1
	国民健康保険等	26	25	1
	小 計	43 (0)	43 (0)	0 (0)
	合 計	829 (13)	830 (11)	△1 (2)

※職員数は一般職に属する職員数。地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時または非常勤職員を除きます。（教育長は職員数から除いています）

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員数。上段の数字には含まれません。

○採用試験の実施状況

職員の採用については、退職者の状況などに応じて募集する職種を検討し実施しています。（16年度）

職 種	受験者数	1次試験 合格者数	2次試験 合格者数	3次試験 合格者数	採 用 辞退数	採用数
一般事務職 【上級】	508(435)	35(30)	15(12)	—	7(2)	8(10)
一般事務職 【初級】	79(73)	17(12)	5(5)	—	1(1)	4(4)
保育士 【中級】	54(43)	16(4)	4(1)	—	3(0)	1(1)
消防職 【上級】	131(136)	94(74)	17(10)	4(2)	0(0)	4(2)
消防職 【初級】	111(81)	54(29)	17(7)	4(1)	1(0)	3(1)
技術職(建築)【上級】 ※7月実施分	1	1	0	—	0	0

2. 職員の給与の状況

○特別職等の報酬等の状況（17年4月1日現在）

区 分		給料月額等
給 料	市 長	744,000円
	助 役	746,000円
報 酬	収入役・教育長	700,000円
	議 長	536,000円
	副議長	451,000円
期末手当	議 員	422,000円
	市長・助役・収入役 議長・副議長・議員	(16年度支給割合) 6月期 2.25月 12月期 2.1月 計 4.35月

※市長については、H16.4.1～H19.12.23の間、給料の20％を減額しています（減額前930,000円）。

※助役・収入役・教育長については、H16.4.1～H19.12.23の間、給料(上記金額)の20％を自主返納しています。

◀平成17年3月に新たに策定した「海老名市定員適正化計画（第二次）」では、22年度までに、市職員の定数条例で定めている職員定数850人から約5％を削減した800人とする目標を定めています。今後も、より簡素で効率的な行政運営と、時代の変化に即応し得る柔軟な市政を実現するために、市民サービスの向上を図りながら、職員の適正配置に取り組んでいきます。

職 種	受験者数	1次試験 合格者数	2次試験 合格者数	3次試験 合格者数	採 用 辞退数	採用数
技術職(土木)【上級】 ※7月実施分	36	4	1	—	1	0
技術職(建築)【上級】 ※12月実施分	2	2	1	—	0	1
技術職(土木)【上級】 ※12月実施分	5	4	1	—	1	0
合 計	927(768)	227(149)	61(35)	8(3)	12(3)	21(18)

※（ ）内は15年度の実施状況です。

※技術職（建築）・（土木）については、15年度は採用試験実施せず

※採用は、採用試験実施の翌年度となります。

出場帰途の食品購入ご理解ください



消防本部では、12月1日から消防職員の食品購入に関する規制緩和を行い、災害出場で休憩時間に食事が取れない場合、帰途にコンビニエンスストアに立ち寄って食品を購入できるようにしました。

これは、火災や救急などの災害件数が増加する中（16年度は火災60、救急5037）、職員の食事の時間が不規則になっている

「消防職員立寄所」看板を設置

ことから、健康管理のために実施するものです。対象のコンビニエンスストア（市内3カ所）には「消防職員立寄所」の看板を設置しており、消防職員が駐車場に消防車や救急車を止めて、食品を購入することがあります。みなさんのご理解・ご協力をお願いします。

消防署（☎231・0355）。

主な目的・目標と実績は左表のとおりです。

市ホームページにも掲載

この報告書（A4判68ページ）は、市ホームページにも掲載します。また先着100人の方に無料で差し上げます。

◇認証取得費用助成します

市では、中小企業のISO14001認証取得を推進するため、取得費用の一部を補助しています。ぜひご利用ください。

▽対象 従業員数100人以下で市内に本社等経営主体を置き、3年以上操業している、3月31日までに審査と認証取得が完了する事業所

▽補助額 認証取得にかかる初回審査登録料とコンサルタント料の合計の2分の1（50万円を限度）。

※市予算がなくなり次第終了。

◆市の人事行政の・状況をお知らせします

市では毎年、職員に支給される給与などについて、その概要を市民のみなさんにお知らせしています。今回から職員採用など、給与以外の市の人事行政の運営状況についても概要をお知らせします。詳しい内容は、市ホームページもご覧ください。

職員課人事担当（部門別職員数の状況は企画経営課）。

○職員給与と費の状況

職員給与と費とは、職員に支給する給与の総額をいいます。給与には、給料(基本給)のほか、毎月決まって支給される手当(調整手当、住居手当など)と実績に応じて支給される手当(時間外勤務手当、特殊勤務手当など)および民間のボーナスにあたる期末・勤勉手当が含まれます。（17年度一般会計予算）

職員数 A	給 与 費				1人あたり 給与費 B/A
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
786 (13)	3,317,086千円	1,063,089千円	1,471,337千円	5,851,512千円	7,445千円

※職員手当には退職手当を含みません。

※給与費は11月補正後の予算額です。

※（ ）内は、再任用短時間勤務職員であり、外数です。

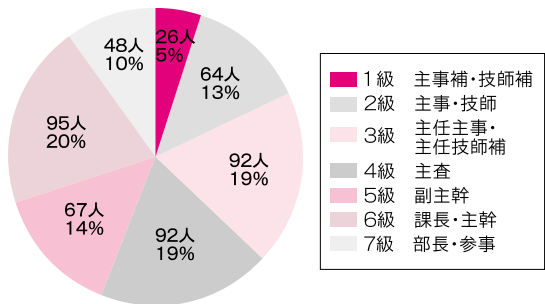
○職員の平均給料月額、平均給与月額および平均年齢の状況（17年4月1日現在）

	一般行政職			技能労務職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
海老名市	368,600円	485,449円	43.7歳	305,200円	369,850円	45.11歳
国	329,728円		40.3歳	285,008円		48.1歳

○職員の初任給の状況（17年4月1日現在）

区 分		海老名市		国	
		決定初任給	採用2年経過日 給料額	決定初任給	採用2年経過日 給料額
一般行政職	大学卒	179,800円	201,400円	I 種179,800円 II 種170,700円	I 種198,600円 II 種184,400円
	高校卒	148,500円	160,200円	138,800円	148,500円

○一般行政職の級別職員数の状況（17年4月1日現在）



※市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。